

地域と学ぶ¹⁶

山形大学地域教育文化学部

着任以来、講義やゼミの傍ら、山形大の同僚の先生方や臨床心理士を目指す大学院生とともに、大学付属の心理教育相談室の運営に携わってきました。

「大学の相談室」と聞くとも、学生を対象とした学生相談室をイメージされる方も多いかと思いますが、この相談室は、地域住民の皆さまを対象とした学外に開かれた有料の相談室となっており、年間約700回の面接が行われ、約1300人の方々に利用していただいています。

また、こうした相談のほか、相談室で行っている活動として「治療的家庭教師派遣事業」があります。治療的家庭教師とは、学校に

臨床心理学・家族心理学 佐藤 宏平 准教授

なかなか足を向けることが難しいお子さんや引きこもった状態にある方々に対して、学習サポートを中心としながら、心理的サポートや社会参加へ向けたサポートも行う家庭教師です。

1回あたり2時間、大学院生が各家庭にお邪魔し、学習、雑談、場合によってはゲームなどをしながら関わらせていただいています。いわば家庭教師と訪問型のカウンセラーを掛け合

わせたような存在であり、「成績を上げることに固執しない」「長期的な視野に立つ」「ご本人のニーズやペースを第一に考える」の3点をモットーに活動しています。

地域貢献へ相談室運営



▽1974年生まれ、山形市出身。山形大着任は2003年。



大学付属の心理教育相談室

この治療的家庭教師派遣事業は、もともと国の助成を受けて始まったこともあり、当初は教員が中心となり運営していましたが、現在は、受付をはじめ、派遣人員の選定、派遣の実施に至るまで活動のほぼ全てを大学院生が行っています。

地域の方々の心の健康の増進に貢献できる相談機関として、また将来、地域の心の健康の支え手となる学生の実習の場として、今後ともよりよい相談室を目指し努力していきたいと思っています。

11月1回掲載します